

総合評価シート（案）

1.要求水準（目標）

目標	指標
本管破損による道路陥没をなくす	本管破損による道路陥没発生箇所数
取付管の詰まり事故を減らす	取付管破損等による溢水・破損件数
苦情を減らす	公共側に起因する苦情件数

2.評価基準

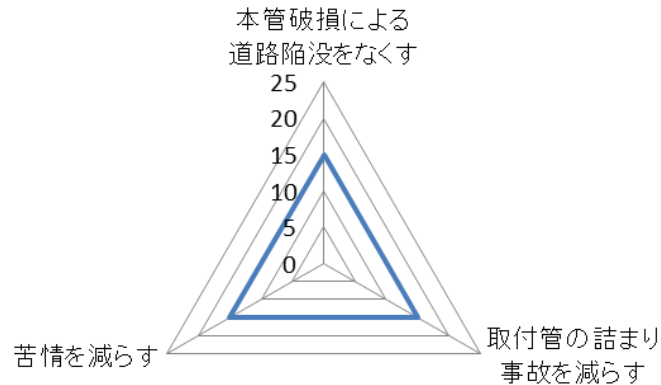
観点1：実施体制と実施計画（Plan）

観点2：業務方法と業務遂行の視点及び課題解決に向けた対応（Do）

観点3：課題解決の有効性・論理性と自己評価による発展（Check&Act）

観点4：エビデンス（証拠）とプレゼンテーション（表現力）

3.履行前自己評価



項目	観点の説明	陥没 (本管)	溢水 (取付管)	苦情
評価基準	観点1：実施体制と実施計画（Plan）			
	観点2：業務方法と業務遂行の視点及び課題解決に向けた対応（Do）			
	観点3：課題解決の有効性・論理性と自己評価による発展（Check&Act）			
	観点4：エビデンス（証拠）とプレゼンテーション（表現力）			
	合計			

4.仕様発注業務進捗状況

項目	令和3年度（実績／進捗率）	
	上半期	下半期
計画的維持管理		
巡視点検業務		
調査業務		
清掃業務		
修繕業務		
修繕業務（部分改築工事）		
計画等策定業務		
計画に必要な調査業務		
マンホール目視調査業務		
テレビカメラ調査業務		
実施設計業務・改築工事		
実施設計業務		
etc		

【コメント】

①本管破損による道路陥没をなくす、②取付管の詰まり事故を減らす、③苦情を減らすための実施事項（主な実施業務内容、発生した問題、対象法等のポイントについて記載

上半期（4～9月）

①道路陥没をなくす	②詰まり事故を減らす	③苦情を減らすため	特筆すべき活動・その他業務
共通事項			

下半期（10～3月）

①道路陥没をなくす	②詰まり事故を減らす	③苦情を減らすため	特筆すべき活動・その他業務
共通事項			

目標達成シート（案）

1. 要求水準

指標	目標値
本管破損による道路陥没発生箇所数	0 箇所／年
取付管破損等による溢水・破損件数	75 箇所／年
公共側に起因する苦情件数	100 箇所／年
通報から着手までの時間	1 時間以内

2. エビデンス（証拠）

3. 道路陥没／詰まり／苦情件数

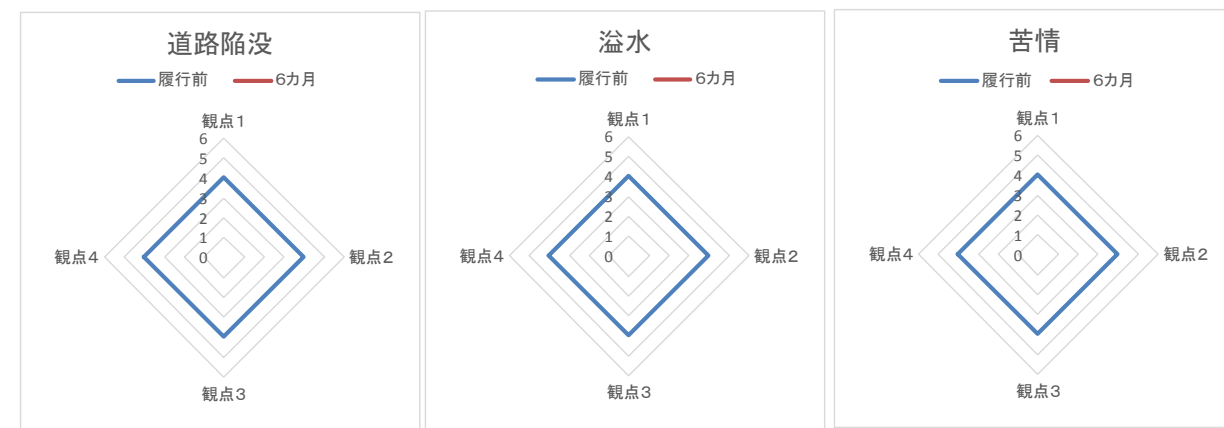
月	アウトカム目標（件数）						着手時間超過件数
	道路陥没		取付管溢水		苦情		
	実績	累積	実績	累積	実績	累積	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							
平均							

4. 実績値と基準値との比較図

グラフ

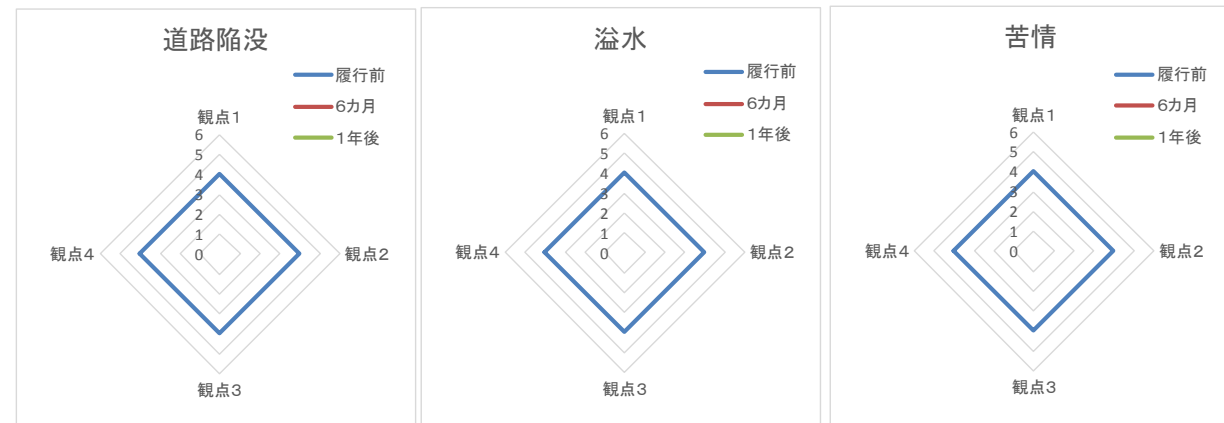
5. 評価者のコメント

中間の自己評価（6カ月後）



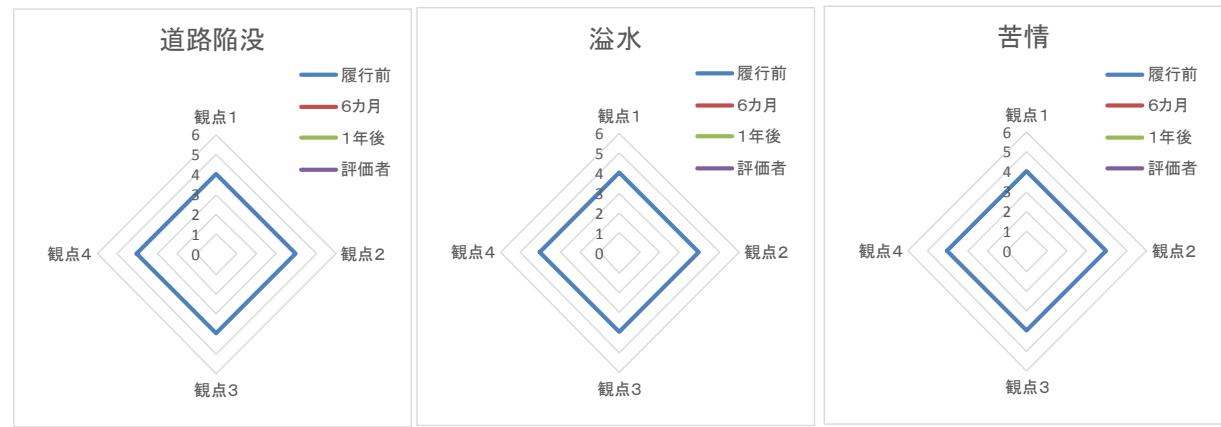
コメント

履行後の自己評価（1年後）



コメント

評価者の評価（1年後）



コメント